

乗用型管理機を使用した大豆畑の効率的除草法

福島県農業試験場 種芸部・会津地域研究支場
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要
分類コード 02-05-20000000

部門名 普通畑作物—大豆—雑草防除

担当者 丹治克男・二瓶直登・渡部 隆

I 新技術の解説

1 要旨

大豆栽培において、乗用型管理機を用いた除草剤の生育期畦間処理は省力的で、除草効果が高い。

- (1) 乗用型管理機を用いた大豆生育期畦間処理は、作業時間が10aあたり15～20分と短く、大規模栽培に対応可能である。
- (2) 使用したビアラホス液剤は、大豆収穫時に問題となる広葉雑草への除草効果が高く、適正な処理では薬害等も見られず、現地適応性が高い。

2 期待される効果

- (1) 乗用型管理機の利用により、大豆の除草作業の省力化が図られる。
- (2) 大豆の生育期に広葉雑草の防除が可能となり、収穫時の雑草の巻き込みによる汚損粒発生が防止され、子実の品質向上が図られる。

3 適用範囲

県内の大豆生産地全域

4 普及上の留意点

- (1) 除草剤の処理は、乗用型管理機またはトラクタマウント型噴霧機に専用ノズルを装着して行う。
- (2) 平成16年3月現在、大豆の生育期畦間処理に使用できる除草剤はビアラホス液剤のみである。使用に当たっては農薬登録の要件を厳守する。
- (3) 使用する除草剤は非選択性の茎葉処理剤であるため、直接大豆にかかると薬害が生ずるので注意する。

II 具体的データ等

表 1 雑草の防除効果

区 名		イネ科							合 計
		ハビエ	ミヌカヤツリ	タネツクハナ	ホタルイ	アサガハ センダングサ	イヌホ	その他	
畦間除草	乾物重 (g/m ²)	t	2.4	0.6	0.1	0.0	2.5	0.0	5.6
	(%)	(-)	(6)	(55)	(20)	(0)	(1250)	(0)	(13)
	本数 (本/m ²)	1.3	42.7	24.0	6.7	0.0	5.3	0.0	80.0
	(%)	(-)	(10)	(42)	(25)	(0)	(403)	(0)	(15)
慣行除草	乾物重 (g/m ²)	0.0	41.5	1.1	0.5	1.4	0.2	t	44.7
	本数 (本/m ²)	0.0	437.3	57.3	26.7	2.7	1.3	4.0	529.3

慣行除草は、播種後土壌処理剤散布・中耕なし

畦間除草は、播種後土壌処理剤散布・中耕なし、茎葉処理剤散布

() は慣行除草区比

t は小数第 3 位以下であるもの

表 2 大豆の収量と品質

除 草 法	全重 (kg/a)	茎重 (kg/a)	精子実重 (kg/a)	百粒重 (g)	障害粒 (粒数%)				
					紫斑	裂皮	虫害	しわ	未熟
畦間除草	61.7	12.7	29.4	29.6	0.3	6.4	2.3	1.1	0.0
慣行除草	59.5	12.0	28.6	29.6	0.3	8.5	1.1	2.2	0.2



図 1 乗用型管理機と専用ノズルの装着状況



図 2 ほ場での散布状況

Ⅲ その他

1 執筆者

丹治克男、佐藤 誠

2 主な参考文献・資料

なし